

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

平成31年1月29日

釧路市議会議長 草島 守之 様

会派名 日本共産党議員団

代表者名 松永 俊雄



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	松永 俊雄
出張先	鶴岡市 盛岡市
期間	平成 31年1月 14日 ~ 平成 31年1月17日 (4日間)
用務	文学を生かした観光とまちづくりの取り組み
調査(研修)結果等の概要	詳細は別紙。
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

【鶴岡市・盛岡市出張報告別紙詳細】

【鶴岡市】藤沢周平記念館館長・社会教育課長、鈴木 晃氏。同専門員、進藤恵理也氏。

鶴岡市は時代小説で人気の藤沢周平(敬称略)のふるさとであり、鶴岡市立「藤沢周平記念館」があることで知られています。同記念館は2005年に構想着手、開設準備委員会で議論しつつ基本構想をまとめ、08年に着工し09年に完成しました。

鶴が丘城本丸あと、鶴岡公園内にあり開館時の10年度は94,296人の入館者を記録し人気の高さを示しました。

11年度以降の入館者は2~4万人に落ち着いているものの、藤沢作品が「たそがれ清兵衛」をはじめ映画化、テレビドラマ化が相次いでいることもあって記念館への入館者は安定しています。

一方、いわゆる「蝉しぐれ」などで知られる「海坂もの」をはじめ「五間川」として描かれている内川、藤沢文学に登場するゆかりの地や同氏ゆかりの地への観光客も少なくありません。また、JRが大人の休日クラブとして鶴岡観光と藤沢文学を結んだり、いわゆる「海坂ツアー」が取り組まれたり、工夫して観光に結び付けている。

合わせて藩校「致道館」の見学なども観光に生かし、ゆかりの地の標識や銅像など訪れる観光客も後を絶ちません。また、最近は「省内映画村」も藤沢作品をはじめ、多くの映画が撮影されており、この点でも駅前をはじめ観光に生かす積極的な取り組みをすすめています。

【盛岡市】盛岡市観光交流課長、立花恵史氏、観光交流課主査、和野吉利氏。

盛岡市はなんとといっても石川啄木が森岡中学校など青春をすごした地であり、新婚当時の家が残されていたり、不来方城址とそこにある啄木歌碑、北上川河畔など啄木の歌碑やゆかりの地、また「石川啄木・宮沢賢治青春館」、「石川啄木記念館」など観光にも結びつく施設が多い。

とくに盛岡市の中心部を歩いて回る観光コースとしたり、100円で乗れるバス「でんでんむし」(1日乗り放題300円)を利用した観光が工夫されている。

なかでも文学と観光を結ぶ取り組みとして「短歌甲子園」に注目してみました。06年から毎年8月、全国各県の高校が参加して予選、決勝リーグ戦などが行われ、北海道から九州まで参加校がひろがり、北海道からも啄木ゆかりの函館からは毎年のように参加がある。

釧路も啄木の文学を愛する市民は多く、参加する学校が出てほしいと考えて

いますが、盛岡では啄木記念館の独自の取り組みのほか「啄木祭」「啄木と若山牧水」「啄木を訪ねる道ウォーク」「啄木バスツアー」など、啄木文学と観光を結んだ多彩な取り組みが行われており、釧路市の観光の取り組みとしてもおおいに参考にすべき、とくに文学館での取り組みや盛岡に数では負けない歌碑などが多数ある条件を生かして取り組みをひろげたい。